

分野： (2) COPDに関する調査研究  
①COPD患者の自己管理と重症化予防

(2)-①

申請課題名：COPD患者に対する個別歩数目標値提供の有用性検証と自己管理法の確立

調査研究代表者氏名：南方良章

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(1) 環境保健対策の推進への貢献度	2人	3人	1人	0人	0人	4.17
(2) 研究成果目標の達成度	0人	4人	2人	0人	0人	3.67
(3) 研究計画の妥当性	1人	2人	3人	0人	0人	3.67
(4) 研究内容の独自性	2人	4人	0人	0人	0人	4.33
(5) 社会・経済に対する貢献度	1人	3人	2人	0人	0人	3.83
個別評価(第3評価):(1)(2)(4)(5)の平均						4.00
(6) 総合評価(第2評価)	1人	4人	1人	0人	0人	4.00
全体評価(第1評価):(1)~(6)の平均						3.94
2 記述評価						
委員 A	本研究成果をいかに全国的に展開し、COPD患者に益することができるかの方策を速やかに作成してもらいたい。					
委員 B	研究対象のn数をさらに増やす必要がある。ある意味で運動負荷になるので循環器に関する評価をどこまで行うかについても提言して欲しい。筋力の低下を回復させる方向での介入まで進めて頂くと社会・経済への貢献度が高まると考えられる。					
委員 C	立派な成果を出していると評価できる。 より長期間の解析とn数を増やすことが必要である。					
委員 D	・無作為比較試験が行われ、病態に適した歩数目標値の提供により6ヶ月の歩数増加効果を確認できたことなど成果があがっている。 ・歩数変化量と多因子の変化量との関連や自己管理アプリ改良に関する点など未実施となっている。					
委員 E	COPD患者の身体活動性に関する多面的な知見が得られている。健康長寿の達成のためにもCOPDマネジメントは重要であり、今回得られた知見の普及が望まれる。					
委員 F	歩数目標値提供の効果検証の他、副次評価項目についても興味深い成果が得られている。					